No. 16

いつまでも 安心とうるおいの下町 「川の子」をめざして

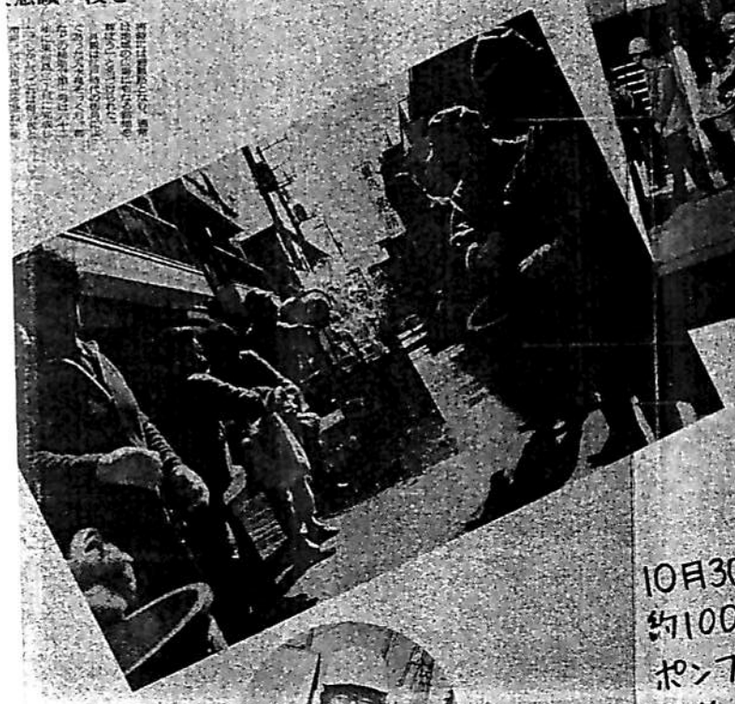
発行／一寺言問を防災のまちにする会

1989.1.1.

防災まちづくり瓦版

路地尊で初の防災訓練

10月30日 向島五丁目東町会



町内有線放送を合図に、防災訓練がスタート。ヘルメットや防災ずきんなどで身を固め、非常袋をもった人たちが次々と言問小に集まってきた。市民消火隊の放水訓練などをおこなった後、路地尊へ移動。二列に並び、30コのバケツを使って市民バケツリレー（写真）。さくらんぼ遊園で消火器使用訓練をして、最後はすいとんサービス。とてもおいしいすいとんでした。

◀ 昭和63年10月30日付 産経新聞

10月30日、向島五丁目で路地尊を使った消火訓練がおこなわれました。約100名の参加者が路上に並び、路地尊にたまった雨水を手押ポンプでくみ出して、バケツリレー。東京消防庁の人が「大変参考になりました」と舌を巻くほどの手際良い訓練でした。

この日の路地尊は、とてもたくましく見えました。

東京消防庁の人に説明する浅尾さん

防災訓練副本部長
八百林のおじいちゃん
田畑金太郎さん

路地尊の水をつかったバケツリレーをして、かれこれ50年前を思い出しました。今ではおばあちゃんと言われる人も「娘時代を思い出して、娘の気持ちで訓練した」と喜んでいましたよ。町会婦人部の炊き出したすいとんに舌づつみを打ちながら、若返ったみたいでイキイキしていました。路地尊のおかげで、いい思い出になったし、初期消火に役立つし、心強いですな。

路地尊の解説者として
FM東京に出演の
浅尾英一さん

若い人や子供は、「バケツリレーってはだろう」「古めかしい」と思っていたらしいけれど、みんなでバケツを手渡して水をかけることを実際にやってみて、面白がっていました。教えこむことも大切だけど、楽しく体で覚えてもらうのも方法だよね。

町会の制服、白ひものヘルメット、白いゲートルを巻いて、この日も浅尾さんは目立っていた（純）